

休校期間が5月31日まで延長となりました。登校して授業を受けられず、友人にも会えない辛い期間が続きますが、あと1ヶ月頑張って何とか乗り切ってほしいと思います。

今回は「**大学受験と自ら学ぶ力**」について考えてみましょう。

皆さん「ウサギと亀」の話は知っていますか。足の速いウサギが自分の能力を過信して油断したために、コツコツと地道に歩き続けたのろまな亀に敗れてしまうという、「継続的な努力の必要性」を示唆した物語です。しかし現実には、「**学力の高いウサギほど努力を怠らず、努力の必要な亀の方がむしろサボっている**」のです。もちろん、地道に努力する亀もいるし、怠けているウサギもいるはずですが、実際は逆の方が明らかに多いのではないのでしょうか。

10日前の4月28日、ある企業が、全国の高校生300名を対象に休校中の過ごし方についてのアンケート結果を公表しました。その結果は深刻で、83%が「生活が不規則になった」と回答をし、1日の勉強時間は「1~2時間」「全くしない」が約70%というものでした。一方で、1日の学習時間「5~6時間」の生徒が9%、「それ以上」と回答した生徒が2.5%いたのも事実です。仮にこの1割が同じ大学を目指すウサギだとしたら、亀のままでいたなら永久に追い抜くことはできません。とは言え、このまま離されるわけにはいきません。もし、自分が亀だと思うなら、まずは「周りの亀以上の速さで歩き続けられるようになる」必要があります。そこで大事になるのが「**自ら学ぶ力**」です。

「自主学習力」とも言われますが、それを高めるためには、「家庭学習」が1つの鍵になります。自分に合った学習の仕方を見つけることが、学習習慣の確立には欠かせません。今回はそのためのポイントとなる「①環境づくり②時間を区切る③基礎固め」の3点について確認していきます。家庭での学習がうまくいかないという人は参考にしてみてください。

まず①について、集中して学習をするためには環境づくりが欠かせません。土日との境目がない分、普段の学校生活と同じ時間に寝起きをすることが大切です。朝食を摂って、自転車を漕ぐ代わりに軽い運動をしましょう。誰でもできる運動として、全身運動にもなり、体幹も鍛えられる縄跳びもおススメです。そして必ず座って学習を始めましょう。一番頭の働く午前中が勝負です。午前中にやるべき課題や復習に集中して取り組み、休憩して午後からは、ゆっくりと自分が力を入れたい勉強や発展的な学習に時間を充てましょう。

次に②ですが、午前中は、自分で計画を立てて細かく時間を決めて行うことが大切です。例えば、学校らしさを出すために、机にその日にやる教科の時間割や課題のポスターを貼る。そして各教科終わりの時間を決め、その時間までは他事をしない。ながら勉強は意味がありません。その時にやる気が出なければ、何か教科書や課題を開く、読む、書く。とにかく何かやり始めなければやる気は出てきません。1ターム30分~1時間くらいが良いと思います。少し短いと感じるかもしれませんが、量より質です。目標を高くしすぎず、取り組んだ時間を記録して、次の日の目標を決めてください。大切なことは毎日続けることです。

最後の③に関しては、この時期に全員が意識してほしいことです。課題をこなしながら、特に自分が苦手な教科・分野の1, 2年次の復習を徹底的に行ってください。今後は国数英を中心に演習が多くなります。土台ができていくかどうか、今後の成績の伸びを大きく左右します。自分のモチベーションの維持にも大きく響いてきます。そして学校再開後は、すぐに新しい分野の学習に向き合う必要があるため、過年度の復習をする時間の余裕はありません。さらに今年は、自分に必要な学習に十分に時間を充てられる夏休みも短縮される予定です。受験生の天王山と言われる夏休みが削られることの意味を考えてみてください。今サボると後で大きなツケが返ってきます。やるべきことは先延ばしをしないように。

自主学习が習慣化していくと、成績面で安定するようになり、スピードを上げて歩き続けられる亀になることができます。相手が亀ならすぐに追い抜くことができます。そして、その後も最大限の速さで継続的に歩き続けられるようになれば、ウサギの背中もきっと見えてくるはずです。

加えて、自分で学習できるようになると、自分をうまく管理する力とともに、「**自発的に学び考える力**」もついてきます。この力はその後のステージにおいても大いに活かされます。

大学は、専門的な学問を深めていく場です。自分で学ぶことができると、より多くの知識を得たり、より専門性の高い勉強ができるようになります。これが深い教養へと繋がります。また、社会人になると「正解が1つとは限らない、何を学ぶかもはっきりとしていない」学びが増えていきます。特に、変化の激しい予測不能な世の中に対応するために、「**新しいことを学び続ける姿勢**」が求められます。そのための基盤をこの大学入試を通して築いていくと欲しいと思います。その他の面でも、何か新しいことに取り組もうと思った時や大きな困難に直面した時にも、この力はきっと生きてくるはずです。

連絡になりますが、5月21日の出校日には、全統マーク模試の自宅受験セットを配付します。難しく感じても、目標に向かってひるまず挑戦する姿勢で集中して臨んでください。また、学習以外にも、「**将来のことを考えたり、自分と向き合ったり、知りたいことをとことん勉強したり**」して有意義な休校期間を過ごしてください。学校が再開されたら、休校中に学ぶことについて何を考えたかについて聞きたいと思います。

最後に、「ウサギと亀」の話の隠れた教訓を紹介します。ウサギと亀の勝敗を分けたものは何か。「ウサギは亀ばかり見ていた。対して亀はゴールのみを見ていた。」というものです。つまり、「**目標への意識の差**」が勝敗を分けたのです。この物語は、周りを気にせず直向きに目標に向かって努力をする「**一意専心**」の大切さを示した教訓ともいえるようです。自分の目標や今やるべきことを見定めて、精一杯取り組んでください。

愛知県総合教育センターによる「新型コロナウイルス対策による臨時休業期間中の学習支援サイト」へのリンクです。活用してください。

<https://apec.aichi-c.ed.jp/link/covid19/index.html>

文責 浅野